

【様式2】

学校関係者評価書

学校名 伊万里特別支援学校

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日 令和5年2月28日(火)

(2) 資料(評価の参考とした資料)

- ・学校評価結果および学校評価アンケート結果

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・目標は数値を明確にする(60%以上、2時間減等)ことで分かりやすくなっている。達成状況はAは少ないが取り組みにより課題が見えてきていると思う。
- ・学校目標の達成のために適切な方向性と妥当な内容が設定され、おおむね達成されている。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・感染症対策等はとても徹底されていて結果も得やすい。地域支援等、学校の働きかけだけでは難しい項目や業務改善等すぐには改善が難しい項目については評価結果も厳しい。
- ・体系的な目標を職員が理解され、自己評価結果についても多面的な視点からアンケート集計を行われるなど適切な取り組みと評価実施であると思います。

③改善方策の適切さ

- ・学校内だけでは解決が難しい内容もあるので改善が難しい部分もあると思う。コロナで途切れてしまった地域とのかかわりが新しい形(時代に合った形)で深めていければよいと思う。支援学校や子どもたちの事を知ってもらう機会が増えていけばと思う。働き方改革については「思い切った対策」の今後に期待します。
- ・課題や問題発生事案に対して速やかな対応がなされていると感じられますが、今後も引き続き対処療法的な対応に陥らないようお願いします。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・学校がたくさん目標を持ち、それに沿って日々取り組んでいることを知った。子どもたちの学力、生活力両面について、その子に合った指導・支援を

考えてくださっていることがうれしい。達成状況もよく保護者としても子どもの成長を感じている。

- ・児童生徒の特性に応じた内容で教育目標が設定され高い水準で達成されているものと考えます。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・目標に沿って取り組みが考えられており、それぞれの先生がそれを理解してしっかりと取り組んでおられると思う。アンケートの数値も目標を満たしている項目が多く評価できる。保護者に成果が伝わりにくい項目(安全に関する取り組み)が評価が低くなるので、指導した内容や成果を伝えていくことも必要と思う。
- ・職員だけでなく児童生徒の保護者の思いを取り入れた取り組みをされており、適切なものであると思います。

③改善方策の適切さ

- ・日々、子どもたちと接しておられるので方策も子どもたちに合った内容を考えられておられる。今後もよりよい指導や支援を目指して頑張ってもらいたい。
- ・児童生徒の立場で、指導力の具体的な向上や改善の方策に向けた意識が共有されており適切なローリングがなされている。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・学校内での連携、保護者との連携、地域との連携などつながりが本当に大切になっていると思う。コロナとうまく付き合いながら行事の再開等、保護者や地域とのつながりを作っていけるとよいと思う。PTA活動もできない行事が多く保護者同士のつながりも薄れてきているので先生と保護者、保護者同士が意見を言いあえるような機会ができればと思う。